

地方公共団体職員のための 「実践的サイバー防御演習 CYDER」 受講のご案内

主催：情報通信研究機構・総務省

目的

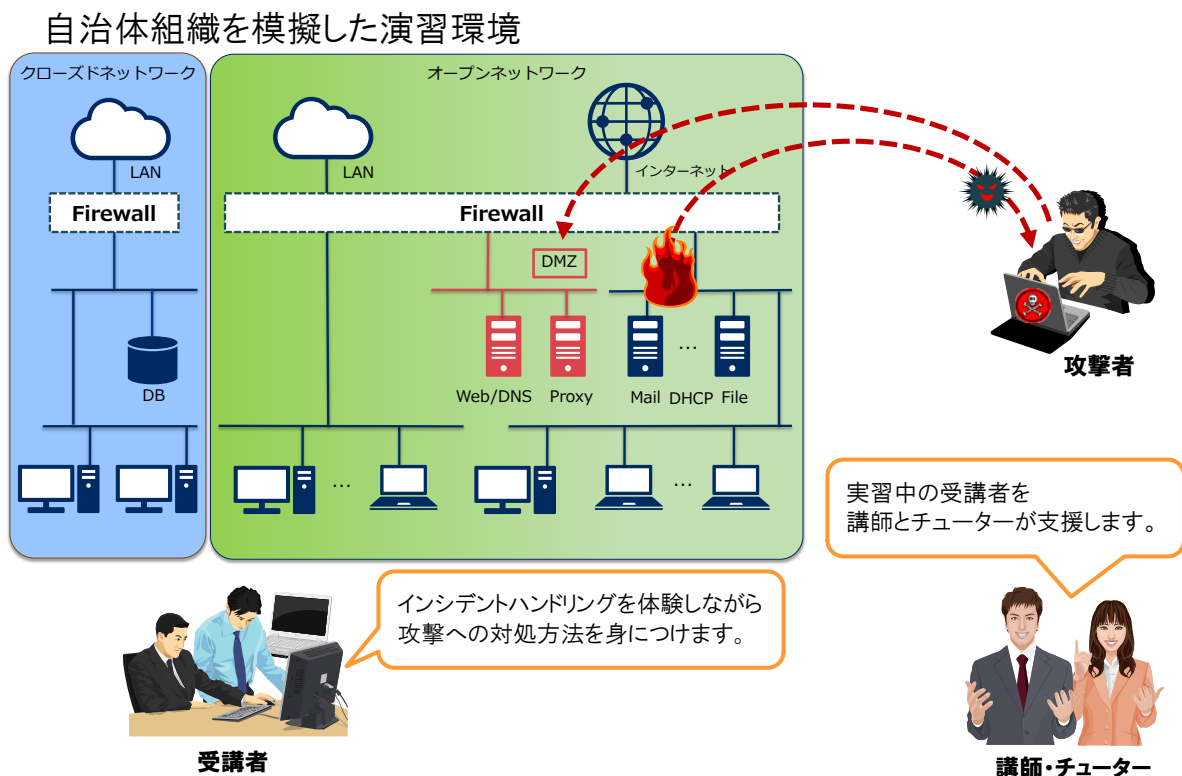
サイバー攻撃の手口は、巧妙化かつ多様化し、サイバー攻撃を未然に防ぐことは非常に困難な状況になっています。官公庁や企業等に対する標的型サイバー攻撃は増加の一途をたどっており、侵入されていることに気付くことができない組織も数多く存在すると言われています。国民へのマイナンバーの配布が始まるなど ICT の利活用が期待される一方で、情報漏えいを防ぐための対策が、ますます重要になっています。

「実践的サイバー防御演習 CYDER[※]」は、増加するサイバー攻撃から情報を守るため、情報システム管理者のインシデントレスポンス能力の向上を目的としています。CYDER では、日常の運用を考慮しながら、事業継続を脅かす攻撃に対応できる「総合力の高い情報システム管理者」の養成を目指します。

※CYDER：Cyber Defense Exercise with Recurrence は、「継続的に実施する実践的サイバー防御演習」という意味です。「サイダー」と読みます。

演習概要

受講者は自治体の情報システム担当職員として演習に参加し、自治体の LAN 環境を模擬した環境で、標的型攻撃によるインシデントの検知から対応、回復まで一連の流れを体験しながら学ぶことができます。



受講のご案内

2016年9月から11月にかけて、全国で「実践的サイバー防御演習 CYDER」を開催する予定です。開催日程や場所については、順次、Webサイトでご案内いたします。参加を希望される方は、Webサイトにて詳細をご確認の上、お申込みください。

開催予定地	
北海道・東北	札幌
	仙台
関東・甲信越・北陸	東京
	長野
	金沢
中部・近畿	名古屋
	大阪
	京都
中国・四国	広島
	松山
九州・沖縄	福岡
	那覇

<申込み・詳細はこちら>
<https://cyder.nict.go.jp/>

対象者
■地方公共団体において組織のネットワークの管理を担う情報システム部門およびその関係者。 (地方公共団体職員でなくとも地方公共団体のネットワーク管理をしている方であれば職員と共に参加可能です)

応募人数とチーム編成
・1名から応募いただけます。 ・事務局にて3~4名のチームとなるよう編成させていただきます。

演習プログラム (例)

1日目	
	午前 (10:00-12:00) <ul style="list-style-type: none">■オープニング ・演習オリエンテーション■講義 ・最近の標的型攻撃事例の紹介 ・標的型攻撃への対策 ・インシデントハンドリングの心得
	午後 (13:00-17:00) <ul style="list-style-type: none">■解説 ・実習環境・ツールの解説 ・演習概要の説明■実習 ・演習環境の把握 ・監視・分析業務 ・インシデントハンドリング ・報告書作成

2日目	
	午前 (10:00-12:30) <ul style="list-style-type: none">■グループワーク ・各チーム報告書の発表 ・質疑応答/講師講評 ・実機による確認■クロージング ・アンケート

※演習は1.5日間で行います。午前開始と午後開始のプログラムがあります。

注意事項

※参加費は無料です。ただし、交通費、および宿泊費は自己負担となります。

※応募状況により、ご希望に沿えない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

お問合せ先

お問合せは、CYDER事務局までメールでご連絡ください。CYDER事務局 cyder@ml.nict.go.jp

